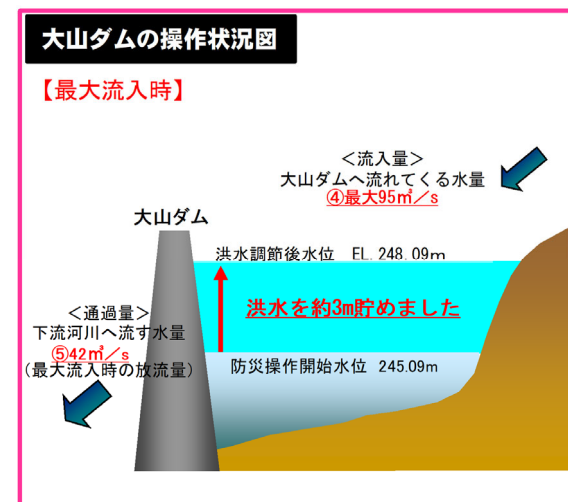
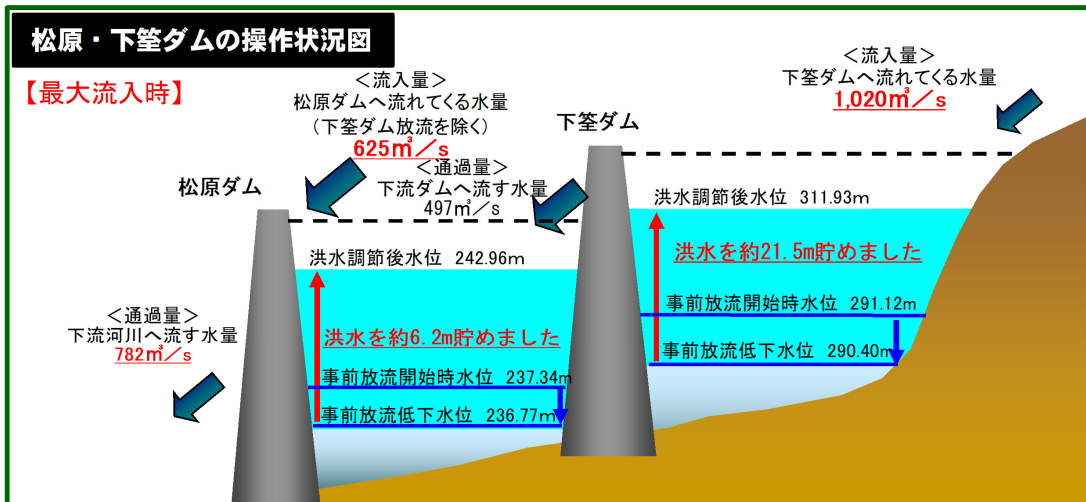
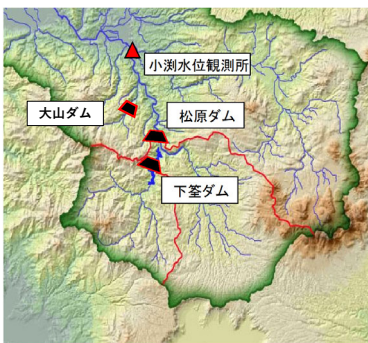


**位置図**

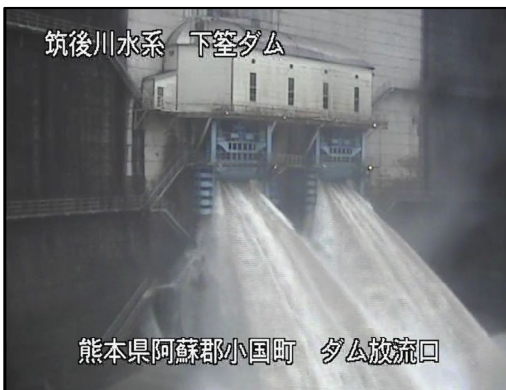


- 梅雨前線の接近により、松原ダム上流域において385mm（6月28日9時～7月2日4時、約4日間）、大山ダム上流域において423mm（6月28日9時～7月1日19時、約3.5日間）の累加雨量を観測。
- 6月30日までの事前放流により、松原ダムで貯水位を約60cm低下させて約38万m<sup>3</sup>を追加して事前に容量を約4,562万m<sup>3</sup>確保し、下笠ダムで貯水位を約70cm低下させて約26万m<sup>3</sup>を追加して事前に容量を約5,051万m<sup>3</sup>確保。洪水時は各ダムに流れ込む水量の一部を貯め、ダム下流へ流す水量を合計で約5割低減。
- これにより、ダム下流の小淵地点において約47cmの水位の水位を低下させたと推定。

**流域図**



松原ダム



下笠ダム

**水位低減効果(小淵地点)**

